

# 大規模プラント・工場プロジェクトファイナンスや保険検討のための地震リスク評価 —地震災害に関する物的被害額、事業中断損失額の評価サービス—

## ●大規模プラントや工場を対象とした物的被害額や事業中断損失額の評価

地震に関する被害や被害額に関するデータの蓄積が少ない大規模プラントや工場について、地震保険やコミットメントラインやキャットボンドといったファイナンス手法による地震リスクの転嫁を検討する場面で、専門技術者が評価した物的被害額や事業中断損失額などの数値化（定量化）された地震リスク評価結果に基づいて検討を進める企業が増えております。

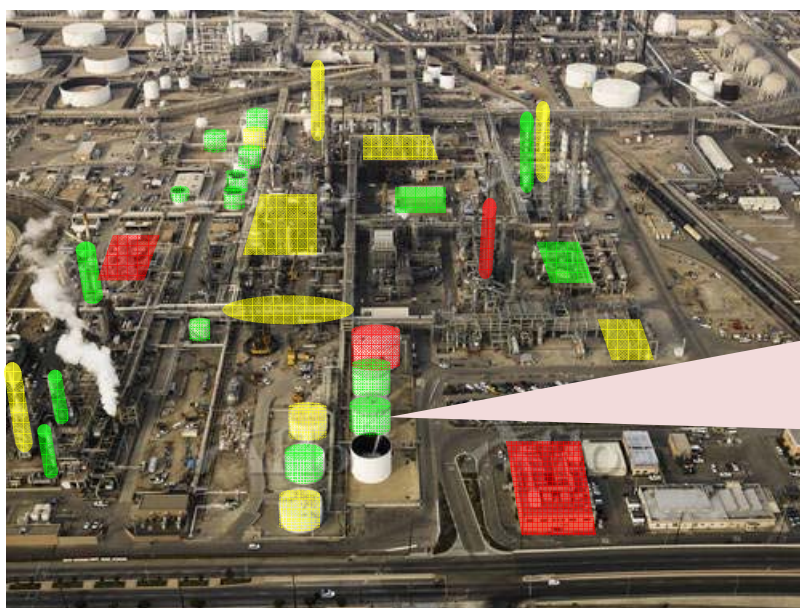
株式会社イー・アール・エスでは、あらゆる規模のプラントや工場を対象に、大地震時の際に起こりうる被害を想定し、物的被害程度、事業中断期間、人的・二次被害などの視点からリスクゾーニングマップを作成します。この結果と最新の地震工学に基づく当該サイトの地震ハザード分析結果に基づき物的被害額や事業中断損失額を評価します。

対象施設の地震リスクとして、今後50年間に予想される物的被害額や事業中断損失額、年間当りに予想される物的被害額や事業中断損失額の平均値などを評価します。

## ●地震リスクゾーニングマップでボトルネックや対策優先順位を把握

設計図書等の調査・分析、現地調査、過去の被害事例調査などに基づき、施設を構成する要素毎に被害想定を行い、この結果を当該サイトのマップ上に記載します。

地震リスクゾーニングマップは、物的被害額や事業中断損失額などの地震リスク評価のための基本情報になりますが、この結果は BCM 構築の際の施設のボトルネックや地震対策の優先順位を把握するために利用することもできます。



### 凡例

- 被害大
- 被害中
- 被害なしまたは軽微

### 【評価結果の詳細】

- ・装置 No.: A-0159
- ・形式: 平置円筒形貯槽



- ・結果に関するコメント

.....

- ・対策方針提案

.....

.....

※調査結果の詳細を報告書に記載します。

リスクゾーニングマップのイメージ  
(敷地内のプロット図等を利用します)

## ●柔軟な価格設定

ERS では、工場全体の物的被害額や事業中断損失額の概要を把握するための簡易調査から、BCM 構築支援を含めた詳細調査まで、お客様の目的にあった調査内容と価格バリエーションでサービスをご提供いたします。